

平木幸二郎教授業績一覧

(1976年4月講師教養部, 1979年4月助教授教養部, 1990年4月教授教養部, 1995年4月教授人文学部, 2001年4月評議員 [2005年3月まで], 2009年3月定年退職)

①論文 (16編)

- 1) 「ニーチェにおける〈創造〉概念」(実存主義協会編『実存主義』59号, 以文社, 1972年3月, 37-56頁) [単著]
- 2) 「ニーチェにおける真理論」(実存主義協会編『実存主義』64号, 以文社, 1973年8月, 34-48頁) [単著]
- 3) 「知識と生——対象知と自己知」(実存主義協会編『実存主義』73号, 以文社, 1975年9月, 27-38頁) [単著]
- 4) 「現代文明における価値倒錯」(信州大学教養部環境科学講座編『自然とむすぶ文化』, 共立出版, 1980年9月, 25-46頁) [単著]
- 5) 「ニーチェの道德批判」(小倉志祥教授還暦記念会編『実存と倫理』, 以文社, 1983年3月, 233-252頁) [単著]
- 6) 「自然支配の時代の脅威」(『道德教育』256号, 日本道德教育学会, 1986年6月, 16-22頁) [単著]
- 7) 「ニーチェの世界解釈」(『信州大学教養部紀要』22号, 1988年2月, 1-18頁) [単著]
- 8) 「西洋近現代における生命概念」(『日本倫理学会論集』24号, 慶応通信, 1989年10月, 35-51頁) [単著]
- 9) 「ニーチェの運命愛について(1)」(『信州大学教養部紀要』28号, 1994年3月, 11-36頁) [単著]
- 10) 「ニーチェの運命愛について」(実存思想協会編『実存思想論集』第9巻, 理想社, 1994年6月, 43-67頁) [単著]
- 11) 「ニーチェの運命愛について(2)」(『信州大学教養部紀要』29号, 1995年3月, 1-27頁) [単著]
- 12) 「運命についての考察」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』31号, 信州大学人文学部, 1997年2月, 1-27頁) [単著]
- 13) 「ニーチェのイエス像の形成をめぐって」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』33号, 信州大学人文学部, 1999年2月, 1-20頁) [単著]
- 14) 「ニーチェにおける誠実性の問題」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』38号, 信州大学人文学部, 2004年3月, 1-26頁) [単著]
- 15) 「客観的世界と人間的生の世界(1)」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』41号, 信州大学人文学部, 2007年2月, 13-36頁) [単著]
- 16) 「客観的世界と人間的生の世界(2)」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』43号, 信州大

学人文学部, 2009年3月, 1-25頁) [单著]

②翻訳 (1編)

- 1) 「愛の秩序」(『シェーラー著作集』第10巻, 白水社, 1978年2月, 222-273頁) [单訳]

③高校教科書関係 (8編)

- 1) 『改訂新選現代社会』(宇沢弘文・相良亨・関寛治ほか12名著作・編集, 東京書籍, 1991年2月, 総頁219頁中35頁分を池尾健一と共同執筆) [共著]
- 2) 『倫理』(平木幸二郎ほか7名著作・編集, 東京書籍, 1994年2月, 総頁192頁中81頁分を担当) [共著]
- 3) 『倫理 指導資料』(東京書籍, 1994年3月, 総頁307頁中31頁分を担当) [分担執筆]
- 4) 『現代社会』(宇沢弘文ほか14名著作・編集, 東京書籍, 1994年2月, 総頁224頁中12頁分を担当) [共著]
- 5) 『倫理』(平木幸二郎ほか8名著作・編集, 東京書籍, 1998年2月, 総頁199頁中78頁分を担当) [共著]
- 6) 『倫理 指導資料』(東京書籍, 1998年2月, 総頁339頁中4頁分を担当) [分担執筆]
- 7) 『新訂現代社会』(宇沢弘文ほか13名著作・編集, 東京書籍, 1998年, 2月, 総頁230頁中18頁分を担当) [共著]
- 8) 『倫理』(平木幸二郎ほか7名著作・編集, 東京書籍, 2008年2月, 総頁212頁中91頁分を担当) [共著]

④その他 (13編)

- 1) 書評: 藤田健治著『ニーチェ』(実存主義協会編『実存主義』55号, 理想社, 1971年4月, 70-72頁) [单著]
- 2) 書評: 山崎庸祐著『ニーチェと現代哲学』(実存主義協会編『実存主義』56号, 理想社, 1971年7月, 80-82頁) [单著]
- 3) 書評: 日本倫理学会編『人格』(実存主義協会編『実存主義』72号, 以文社, 1975年6月, 98-101頁) [单著]
- 4) 書評: 渡辺二郎著『ニヒリズム』(実存主義協会編『実存主義』75号, 以文社, 1976年3月, 86-88頁) [单著]
- 5) 書評: 西尾幹二著『ニーチェ I・II』(実存主義協会編『実存主義』84号, 以文社, 1978年9月, 87-89頁)(西尾幹二著『ニーチェ II』, ちくま学芸文庫, 2001年5月, 573-578頁) [单著]
- 6) 「道徳批判の射程」(渡辺二郎・西尾幹二編『ニーチェ物語』, 有斐閣, 1980年12月, 199-201頁) [单著]
- 7) 「近代合理主義とニヒリズム」(『高校通信』287号, 東京書籍, 1989年9月, 1-5頁) [单著]
- 8) 辞典項目: 「運命」「古い」「ニヒリズム」「ショーペンハウアー」(星野勉・三嶋輝夫・関根清三編『倫理思想辞典』, 山川出版, 1997年3月) [分担執筆]

- 9) 書評：竹内整一編『無根拠の時代』（実存思想協会編『実存思想論集』第12巻，理想社，1997年10月，151-154頁）[単著]
- 10) 「理想の『倫理』の教科書とは」（東書Eネット，2002年6月）[単著]
- 11) 「現実をあるがままに見ること」（『ニューサポート 地歴公民』，東京書籍，2005年10月，13-15頁）[単著]
- 12) 「バスカルの用語？——〈中間者〉」（東書Eネット，2007年4月）[単著]
- 13) 「自己の実存と〈自己像〉」（東書Eネット，2008年9月）[単著]

⑤ 学会講演・発表等

- 1) 講演「人間的生と意識について」実存思想協会第1回大会，1985年10月
- 2) 共通課題発表「西洋近・現代における生命概念から」日本倫理学会第39回大会，1988年10月
- 3) ワークショップの発題者「公民科教育と倫理学研究の《つなぎ目》」日本倫理学会第52回大会，2001年10月
- 4) ワークショップの責任者および報告者「公民科教育と倫理学研究——教科書と入試をめぐって」日本倫理学会第53回大会，2002年10月

⑥ 学会活動

- 1970年4月 日本倫理学会会員（～現在に至る）
 1980年4月 日本思想史学会会員（～1996年3月）
 1985年4月 実存思想協会会員（～現在に至る）

⑦ 学内業績

学内委員（人文学部へ移行後のもの）

- ・自己点検・評価運営委員会 1996年6月～1998年5月
- ・生涯学習推進委員会 2001年4月～2003年3月
- ・国際交流委員会 2001年11月～2005年3月
- ・教育課程委員会 2001年11月～2005年3月
- ・情報セキュリティ委員会 2003年4月～2005年3月
- ・地域連携推進委員会 2003年4月～2005年3月
- ・イコール・パートナーシップ委員会 2005年7月～2007年3月
 （委員長 2006年4月～2007年3月）
- ・ヒトを対象とした研究に関する倫理委員会 2006年4月～2008年3月

人文学部委員

- ・評価点検委員会 1995年4月～1997年3月
 （委員長 1996年4月～1997年3月）
- ・学務委員会 1998年10月～1999年9月
- ・国際交流委員会 1999年4月～2001年3月
- ・研究科小委員会 2001年4月～2004年3月

- ・教育検討委員会 2001年4月～2004年3月
- ・内陸文化交流室幹事 2002年4月～2005年3月
- ・大学院委員会 2004年4月～2006年3月

その他の委員

- ・医学部医倫理委員会 1999年4月～2009年3月
- ・医学部ヒトES細胞研究倫理委員会 2001年7月～2009年3月
- ・医学部附属病院遺伝子治療臨床研究審査委員会 2004年1月～2006年8月
- ・医学部遺伝子解析倫理委員会 2008年6月～2009年3月